



「世界に羽ばたけ子どもたち」を目指す 杉並区立西田小学校



このシリーズ第7回は、西田小学校の鈴木朝代校長先生からお話を伺いました。

★概要

西田小学校は、1942年に東京市西田国民学校として開校、来年2022年度には80周年を迎えます。学級数は22、児童数651名（2021年4月現在）。ユネスコが認定した杉並区内で唯一の「ユネスコスクール」です。

★西田小の特色

西田小は、ユネスコ憲章の理念を実現するために「平和や国際的な連携」を実践するESD（持続可能な開発のための教育）の推進拠点であり、小、中、高などの全国1120校あるユネスコスクールのなかでも、ESD重点24校の一つです。2019年秋には第10回「ESD大賞」の「小学校賞」を授賞しました。

西田小が掲げている教育目標は「気付き・考え・行動する子～地球規模で考え、足元から行動するような西田の子の養成を目指す～」です。

学習テーマは、1年生が身近な自然とふれあい学ば「しぜんとなかよし」、2年生が「わたしの町はっけん」、3年生が「自然とともにくらそう」、4年生が「みんなにやさしい町づくり」、5年生が「世界を見直して環境を考えよう」、そして6年生になると「世界に向けて羽ばたこう」と、高学年になるほど世界的視野を盛り込んだカリキュラムになっています。



3年生の「校内フィールドビンゴ」



4年生の「みんなにやさしい町づくり」

★大きな挑戦を掲げる

環境・貧困・人権・平和・開発など地球規模の課題を児童自身が自らの課題と捉え、課題解決に向けた価値観や行動力を生み出すことで、持続可能な社会を創造する担い手を育てる—こうした大きな挑戦を掲げているのが西田小です。2015年の国連サミットで採択された「持続可能な世界を実現するための17の目標」

(SDGs)の視点を取り入れ、子供たちの価値観を広げようとしています。

未来を担う子供たちを育てるために教職員、保護者、地域住民が一体となり学校づくり、まちづくりを進めています。例えば、子供たちに、できれば世界で活躍してほしいとの思いで「西田英語村」を始めた際には、学校支援本部が協力して地域で英語が堪能な人を集め、サポーターとして送り込んでくれました。

子供たちの活動の1年間のゴールは毎年2月の最終土曜日に開かれる「ESD子供報告会」です。全学年が保護者や地域の人に対する発表の機会を毎年重ねることで、自らの成長を実感することができ、発表内容の質も年々向上しているそうです。ただ今年は残念なことにコロナ禍の影響で、多人数の集まる発表会が開催できず、ビデオ撮りに終わってしまいました。



5年生の「西田英語村」



6年生のタブレットによるプレゼン授業

★鈴木校長の思い

鈴木朝代校長は、1988年から11年間、西田小で教員を務め、3年前に杉並第一小学校の副校長から西田小の校長に赴任しました。2016年に2代前の本徳文恵校長が「ユネスコスクール」の認定を受け、引き継いだ小堂十・前校長が「気付き・考え・行動する子」の教育目標を掲げて強力に推進。それを鈴木校長が受け継ぎ、ESDで6年間学び育った卒業生を来年3月、送り出します。創立80周年記念に向けては、学校運営協議会とも連携して記念誌を今年発行して盛り上げていき、80周年式典では子供たちに司会を委ねるなど、ユネスコスクール・西田小らしいイベントを開催する予定です。

杉並区立西田小学校

住所:167-0051 東京都杉並区荻窪1-38-15 電話:03-3392-6828

ホームページ:www.suginami-school.ed.jp/nishitashou/